

国の施策である「プラス・セキュリティ人材」向け、初の書籍 『自分ごとのサイバーセキュリティ』を出版

iU（東京都墨田区、学長 中村 伊知哉、<http://www.i-u.ac.jp>）の専任教員 平山 敏弘が、2024年7月にビジネス教育出版社から『自分ごとのサイバーセキュリティ～手口を理解し、対策を知ろう～』を出版しました。「経済・経営・ビジネス」カテゴリでの売上ランキングなどでも上位となるなど、テクノロジー領域のみならずビジネスエリアでも反響が寄せられたため、その販売を記念して、2024年9月23日に実施するiUオープンキャンパスで特別講義を開催いたします。

近年多く報道されているサイバー攻撃の被害ですが、その多くは企業や組織ではなく、個人である「あなた」を狙ってきているのが傾向です。

一方、日本においてセキュリティ人材が約20万人不足しているとの調査結果もありますが、その多くはセキュリティ専門人材ではなく、個人が狙われた際に対応ができる「本来は他の業務を担っており、+（プラス）でセキュリティの知識も身に付けておいてほしい、『プラス・セキュリティ人材』です。

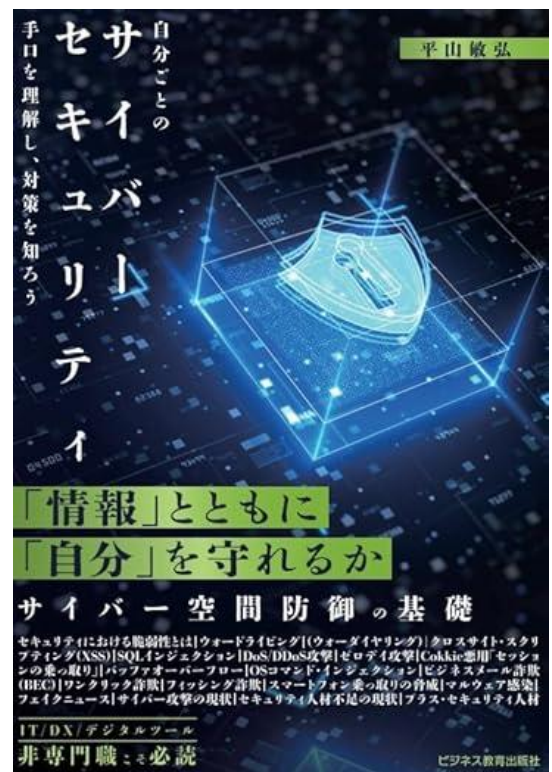
本書は、iU専任教員である平山が生み出し、世に広めたワードである「プラス・セキュリティ人材」に関する初の書籍であり、DX時代において非専門家の方が身に付けておくべき要点をわかり易く解説しています。

○タイトル :
『自分ごとのサイバーセキュリティ
～手口を理解し、対策を知ろう～』

○著者 : 平山敏弘
○出版社 : ビジネス教育出版社
○定価 : 1,980円（本体1,800円 + 税10%）

○Amazonリンク :

<https://www.amazon.co.jp/dp/4828310924>



■ ビジネスや経営視点からサイバーセキュリティを学ぶ授業から生まれた 1 冊

iU の正課である「情報セキュリティ演習」は、従来のセキュリティの知識や技術を学ぶ「禁止事項や操作方法（How to）」中心の内容とは異なり、なぜセキュリティを学ぶ必要があるのか（Why）の視点から、セキュリティの重要性を理解することに重点が置かれています。ICT を利活用してビジネスを推進する人材であるイノベータを育成する本学の教育方針から「情報 = お金」である情報の価値を意識して、ビジネスや経営視点からサイバーセキュリティを学ぶ授業である点が特長です。

また「プラス・セキュリティ人材」とは、インターネット上で検索すると、350 万件以上検索結果が表示されるワードですが、この造語は、本学教授である平山が生み出し、世に広め、今後企業の生き残りに必須となる DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進に欠かせない人材と認知され、今や国会で閣議決定された国の政策にも盛り込まれています。

本書では、iU の授業で実施してきた「なぜセキュリティを学ぶ必要があるのか」を理解することで「セキュリティを自分ごと」と実感していただくとともに、インターネットを利用してビジネスに携わる多くの社会人の方々が「プラス・セキュリティ人材」になっていただけるようにまとめ、出版したものです。



サイバー攻撃の対象はシフトしており、ウイルスおよび不正プログラムの検出経路の約 9 割が個人へのメール経由となっている調査結果もあります。このような状況への変化により、従来はセキュリティ専門家に任せておけばよかったセキュリティ対策が、今では各個人が対応しなければならなくなりました。各自がセキュリティ対策をしっかりとっておかなければ、企業や組織がいくらしっかりセキュリティ対策を施しても、そこら中に攻撃の対象となる脆弱性ができてしまうのです。本書は、一人ひとりが「プラス・セキュリティ人材」として知識を身に付ける際に、活用いただける内容です。

■ 9月23日に、iU オープンキャンパスにて特別授業を実施

本書の内容に関連した「自分ごとのサイバーセキュリティ ～攻撃の矛先は、企業（組織）ではなく『あなた』へ～」を、iU のオープンキャンパスで特別プログラムとして開催します。



サイバーの世界では、目に見えていないだけで、日本に銃弾のような攻撃が1秒間に16,000発も撃たれています。実は皆さんの頭の周りにも銃弾が飛び交っていて、当たっている人もたくさんいます。

一方サイバーセキュリティ対策は専門家がやってくれると思われがちですが、最近の傾向は個人が攻撃のターゲットになっており、誰も助けてくれません。自分のことは自分が守るしかないのがインターネットの世界なのです。

当プログラムでは、目に見えない攻撃の銃弾をお見せすることで、サイバーセキュリティを自分ごとと実感いただくと共に「プラス・セキュリティ人材ってなんだ」、「なぜセキュリティを大学で学ぶのか」、「日本がアジアの国々からも大きく後れをとっている原因」についてもお話しします。

<開催概要>

【日時】2024年9月23日（月・祝） 10時50分～11時40分

※オープンキャンパスは、10時00分～12時30分（9時30分～受付開始）

【会場】東京都墨田区文花 1-18-13/iU 情報経営イノベーション専門職大学 墨田キャンパス

<https://www.i-u.ac.jp/information/campus/access/>

【お申し込み】<https://www.i-u.ac.jp/event/31615/>

■ 著者：平山 敏弘 (iU 専任教員)



日本アイビーエム入社以来、UNIX を中心とした大規模分散システムにおけるシステムデザインおよびシステム構築作業を数多く経験。

Web システムを担当することから、当時まだ専門家がほとんどいなかった情報セキュリティの世界に従事。その後、アクセンチュアでのセキュリティコンサルティング事業部立ち上げに参画。

一方、情報セキュリティ人材育成に関連した、経済産業省・文部科学省・IPA などの各種委員会の委員を歴任。またセキュリティ講義を複数の大学および大学院で非常勤講師として実施するなど、産官学連携におけるセキュリティ人材育成活動を広く実施している。

2013 年には、(ISC)² よりアジアパシフィック地域でセキュリティの発展に

貢献した一人として情報セキュリティ・リーダーシップ・アチーブメント (ISLA) ・アジアンアワードを受賞。

専修大学ネットワーク情報学部 兼任講師

特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会 教育部会 部長

一般社団法人 日本サイバーセキュリティ・イノベーション委員会 客員研究員

<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

情報と経営でイノベーションを起こす人材を育成する、デジタルとビジネスの国際大学。

AI、ソーシャル、web3、eスポーツ、デザイン思考、メディア、VR/AR、マーケティング、オタク、メタバース、セキュリティ……。プロジェクト授業、4ヶ月インターン、そして恐らく世界初の「全員起業」。

全員が起業に成功すれば就職率がゼロになるので、目標就職率ゼロ。 起業数42、起業増加率日本一。

だが多くは失敗する。失敗から学ぶ「失敗大学」。コンピテンシー：行動偏差値がトップ級。 結果、就職率97.5%。連携企業800社、客員教員1000人。学生より教授のほうが多い、プロのコミュニティの中で学ぶ大学。

研究所「B Lab」をベースとして、地域DX、超校歌、超人スポーツ、ニューロダイバーシティ等86プロジェクトが走っている。

2025年度には、eスポーツの学習・活動・インターン・起業を行う「eスポーツコース」も設ける。

入学式、卒業式などイベントは学生が企画・運営。自分でつくる大学。デジタル1st。日本初のPC・ネットあり入試を導入。

理念は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」。

それ、おもしろい？ それ、あたらしい？

■学長



京都大学特任教授、東京大学研究員、デジタル政策財団理事長、CiP協議会理事長、国際公共経済学会会長、日本eスポーツ連合特別顧問、理化学研究所コーディネーターなどを兼務。

1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究所長、慶應義塾大学教授を経て、2020年4月よりiU学長。

内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省などの参与・委員を歴任。

著書に『新版 超ヒマ社会をつくる—アフターコロナはネコの時代—』（ヨシモトブックス）、『コンテンツと国家戦略』（角川EPUB選書）など多数。

1961年生まれ。京都大学経済学部卒、大阪大学博士課程単位取得退学。博士（政策・メディア）。

■所在地

・本校舎：東京都墨田区文花1-18-13

・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：本校舎
右：サテライトオフィス

・学生数：698名 ・専任教員数：27名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■ 学びの特色

「ビジネス」「ICT」「グローバルコミュニケーション」この3つが学びの柱

① 論理的思考で世の中に変革を起こす【ビジネス】

ビジネスの仕組みを理解し、マーケティング、マネジメント、財務、法務などの専門知識を学習

さらに、必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、課題発見からビジネスプランの立案までを繰り返し学ぶことで、実践力を身に付ける

② 情報通信技術の可能性を知る【ICT】

急速に進化する世界で自身のアイデアを形にし、世界へ発信する力となるデジタル技術を身に付ける

プログラミングやデータ処理、ネットワークといった基礎技術から、AI、データサイエンスなどの最新領域をカバーするカリキュラムを展開

③ 国境を越えて世界中の人と協働する【グローバルコミュニケーション】

卒業後に現場で生きるビジネス英語を中心に、異文化理解、国際情報やグローバルビジネスを学び、ボーダーレスな共創・活躍を実現するための多角的な国際感覚を養い、英語でのビジネスピッチが行えるまでを学び、実社会で活躍できる人材を育成

全員インターンシップ×全員起業×オンライン学習

・インターンシップとリアルプロジェクト：1人640時間のインターン、実ビジネスの中でハンズオンのリアルプロジェクト教育を実施

・全員起業：必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、全員が在学中に起業にチャレンジ。希望者には事業化まで伴走するプログラムや資金提供、大学の所在地を使った登記などをサポート

・オンラインを活用した授業サポート：自ら積極的に学ぶための環境を用意

■ 育成人材像

・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材

・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : info@i-u.ac.jp